

改善報告書

令和元年 7 月 22 日

1. 大学名：千里金蘭大学

2. 認証評価実施年度：平成 29 年度

3. 「改善を要する点」の内容

基準項目：2-1

○生活科学部児童教育学科の収容定員充足率は 0.7 倍未満であり、改善が必要である。

4. 改善状況及び結果

基準項目 2-1 について

本学では、生活科学部児童教育学科の定員充足を重点目標に掲げるとともに、本学全体の認知度向上及び受験促進を図るため、平成 29（2017）年 5 月のホームページリニューアルを機に、教育内容や就職状況等の積極的な情報発信を行い、同時に、受験生応援ブログや Twitter などの SNS による高校生目線での情報発信強化を図ってきた。

また、高校内ガイダンス及び会場進学相談会への積極的参加により、志願者獲得のための接触機会の増加を図り、学問分野や教育内容、入試制度など、学年に応じたガイダンスを行うほか、金蘭会高等学校からの内部進学者増加に向けた「高大連携ワーキング」の継続実施により、本学への理解促進を図ってきた。

さらに、入試制度等の改革として、平成 30（2018）年度 AO 入試及び指定校推薦入試において、成績優秀な学生の確保を目指し、高校での評定平均値に応じたスカラシップ（奨学金）制度を新設するとともに、入学前ピアノレッスンの実施を行うことで、当該入試による入学者は 30 名となり、平成 29（2017）年度と比較して 11 名増加、平成 31（2019）年度においても、当該 2 種の入試を通じて入学者 30 名を確保することができた。金蘭会高等学校からの内部進学者数については、平成 30（2018）年度が 4 名であったのに対し、平成 31（2019）年度は 8 名に増加した。

生活科学部児童教育学科においては、平成 30（2018）年度の入学者数が 57 名（入学定員充足率 0.81）、平成 31（2019）年度の入学者が 66 名（入学定員充足率 0.94）と順調に推移し、収容定員充足率（令和元（2019）年 5 月 1 日現在）は 0.75 に向上したことで、改善している。

5. エビデンス（根拠資料）一覧

基準項目 2-1 の資料

- 2-1-1 千里金蘭大学 2018 入試ガイド
- 2-1-2 千里金蘭大学 2018 年度入試 学生募集要項・願書
- 2-1-3 千里金蘭大学 2018 年度 学内奨学金制度のご紹介
- 2-1-4 千里金蘭大学 生活科学部児童教育学科 AO 入試・指定校推薦入試スカラシップ（奨学金）に関する規程

- 2-1-5 千里金蘭大学 2018 年度入試結果
- 2-1-6 千里金蘭大学 在籍者数一覧（2018 年 5 月 1 日現在）
- 2-1-7 千里金蘭大学 2019 入試ガイド
- 2-1-8 千里金蘭大学 2019 年度入試 学生募集要項・願書
- 2-1-9 千里金蘭大学 2019 年度 学内サポート制度
- 2-1-10 千里金蘭大学 2019 年度入試結果
- 2-1-11 千里金蘭大学 在籍者数一覧（2019 年 5 月 1 日現在）

改善報告書

令和元年 7 月 22 日

1. 大学名：千里金蘭大学

2. 認証評価実施年度：平成 29 年度

3. 「改善を要する点」の内容

基準項目：3-3

○学生の退学、停学及び訓告の処分の手続きが定められていないため、改善が必要である。

4. 改善状況及び結果

基準項目 3-3 について

「教学センター」において「学生懲戒規程」の原案を策定し、平成 29 年度第 3 回「学生委員会」以降、当該委員会を中心に当該規程制定に向けた協議を重ね、学生の懲戒の手続きに係る必要な事項の確認を行った。

その後、学長が大学の意思決定を行うにあたり、意見を述べる組織として役割を担う「大学協議会」において、「学生委員会」を通じて上程された「学生懲戒規程（案）」の制定について審議し、複数回の修正を経た後に承認され、学長がこれを決定した。

平成 30（2018）年 6 月 14 日付けで「学生懲戒規程」を制定したことで、改善を行った。

5. エビデンス（根拠資料）一覧

基準項目 3-3 の資料

- 3-3-1 平成 29 年度第 3 回学生委員会議事録（平成 29 年 12 月 6 日）
- 3-3-2 平成 29 年度大学協議会議事録（平成 30 年 3 月 8 日）
- 3-3-3 平成 30 年度大学協議会議事録（平成 30 年 5 月 17 日）
- 3-3-4 平成 30 年度大学協議会議事録（平成 30 年 6 月 14 日）
- 3-3-5 千里金蘭大学 学生懲戒規程